



立憲主義回復と違憲立法・安保関連法制廃止を求める  
山陰大学人(有志)の(略称：立憲山陰大学人の会)主催学習会

# 子ども目線の平和哲学

島根と京都で学んだこと

## お話：藤原 辰史さん

京都大学人文科学研究所准教授  
自由と平和のための京大有志の会

昨年7月、安保法制、言論への威圧発言、大学への君が代・日の丸の強制など安倍政権の政策に反対し、新しい時代の自由と平和を創造するため「自由と平和のための京大有志の会」が結成されました。その際話題となった「声明書」の草案を書かれた藤原辰史さん（島根県出身）をお招きして、改めて平和と自由、民主主義を考えたいと思います。

**9月30日(金) (17-19 時)**

場所：島根大学松江キャンパス

法文学部棟2F 多目的室1(207)

戦争は、防衛を名目に始まる。  
戦争は、兵士だけでなく、  
老人や子どもにも災いをもたらす  
戦争は、人々の四肢だけでなく、  
心の中にも深い傷を負わせる  
生命は、誰かの持ち駒ではない。  
血を流すことを貢献と考える  
普通の国よりは、  
知を生み出すことを誇る  
特殊な国に生きたい。  
学問は、戦争の武器ではない。  
学問は、商売の道具ではない。  
学問は、権力の下僕ではない。  
生きる場所と考える自由を守り、  
創るために、  
私たちはまず、思い上がった権力に  
くさびを打ちこまなくてはならない。

(自由と平和のための京大有志の会  
「声明書」より)

